



昭和二十九年五月七日、NHKテレビから頼まれ、「子供たちにわかるように速記の話を」ということで放送することになりました。子供たちにわかるようにというので長男の敏雄（当時京都市立朱雀第四小学校五年生）と、東京本所中学校一年生にやらせることにしたので。本所中学校ではそのころ少し教えていたので、学校にお願いして男女四人出していただくことにしたのでした。放送の前日、六日に敏雄を東京に連れて行つたのです。その翌日、本所中学校との打合せをすませ、時間があつたので敏雄を連れて浅草の松屋デパートに行つたのです。何か買物をするためだつたと思います。ところがちよつとの間に敏雄を見失つてしまつたのです。びっくりしました。恐らく顔色も変わっただろうと思ひます。それから夢中になつてどこに行つたかとあちこち探しまわっていると、敏雄が階段の手すりでゆうゆうとぶらんこをしているのが見つかつてほつとしたのです。